

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会 第2回ワーキンググループ
会議録（要旨）

1. 概要

1) 開催日時・場所

平成 16 年 9 月 28 日（火）10:30～12:00 東部ブロック 函館開発建設部 会議室
" 14:30～16:00 北部ブロック 八雲道路総合事業所 会議室
平成 16 年 9 月 29 日（水）13:00～15:00 西部ブロック 江差道路事務所 会議室

2) 出席者：別表に記載

- 3) 議 事：（1）道路防災連絡協議会の活動状況
（2）平成 16 年度 道路防災事業
（3）今後の防災情報の共有について
（4）道路管理者が提供している情報
（5）気象台の参画について
（6）その他 ・協議会ホームページ及び協議会パンフレットの作成
・道路防災マニュアルの作成
・今年度のスケジュール

2. 配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料 - 1：道路防災連絡協議会の活動状況
- ・ 資料 - 2：平成 16 年度 道路防災事業
- ・ 資料 - 3：今後の防災情報共有について
- ・ 資料 - 4：函館開発建設部が提供している情報
- ・ 参考資料 - 1：協議会ホームページについて
- ・ 参考資料 - 2：協議会パンフレット（案）
- ・ 参考資料 - 3：情報連絡マニュアルの作成について

3. 議事項及び質問等について

3 - 1 . 議事 1 道路防災連絡協議会の活動状況（資料 - 1）

- ・ 平成 12 年 11 月 21 日に設立された当協議会について、設立経緯やこれまでの活動内容について事務局より説明を行った。このなかでは、他の地方での取り組み状況や、第 7 回協議会から渡島全域を含む「渡島・檜山地方道路防災連絡協議会」と名称変更したことなどが報告された。

出席者からの質問・意見は挙がらなかった。

3 - 2 . 議事 2 平成 16 年度 道路防災事業 (資料 - 2)

- ・ 開発建設部及び土木現業所より、道路防災事業の紹介が行われた。
- ・ 開発建設部では高規格幹線道路として 2 箇所、地域高規格道路として 2 箇所、また、一般国道の整備や現道の隘路解消などを目的として 4 箇所で行っている。
- ・ 土木現業所では道道の整備として北檜山大成線と函館南茅部線を主に紹介しており、このうち北檜山大成線は当初予定より約 2 ヶ月早く開通でき、これが功を奏して台風 18 号災害を逃れたことは非常に大きいといえる。

(函館土木現業所) 今金～長万部間の光ファイバ敷設の予定を聞きたい。また、長万部までつながれば本局までつながることになるのか。

(座長) 光ファイバ敷設は優先順位をつけて順次整備を行っている。国道 230 号(国縫～今金)は河川事業で整備する予定である。なお、北檜山の国道 229 号は既に光ファイバが繋がっているので、北檜山と繋がれば国道 229 号経由で光ファイバネットワークとして札幌や函館と繋がる。

3 - 3 . 議事 3 今後の防災状況共有について (資料 - 3)

- ・ 管内における自治体との防災情報の共有として「駒ヶ岳火山防災 WAN」の運用を行っている。背景としては、駒ヶ岳を監視している北海道が情報を効率的に伝送する手段として開発建設部の光ファイバを活用したことが契機となり、これにより駒ヶ岳の火山観測情報や国道のカメラ映像を共有することとした。
- ・ 将来的には全道レベルで情報共有できることをイメージしている。
- ・ 現在、この「駒ヶ岳火山防災 WAN」を利用している関係機関に利用についての聞き取り調査を行った結果、次のような意見を頂いた。

(利用状況) 平常時から利用している機関が多く、駒ヶ岳に特に異常がなくてもシステム動作の確認を兼ねて利用している機関もある。

(利用頻度の高い情報) カメラ画像や降雨時の雨量情報の利用頻度が高い。

(操作性) ほとんどが問題ないとしている。

(追加を希望する情報) 噴火災害時の警報を含めた気象情報、気象台のカメラ画像、駒ヶ岳以外の平野部の雨量情報、国道や道道の通行情報、MICOS 情報、ワイヤセンサ切断時の被害想定図、開建のアメダスデータなど。また、カメラの増設を希望しているところもある。

(追加を希望する機能) IP 電話によるホットライン機能、通信のバックアップ機能、カメラの通常時の自動スクロール機能。

(このシステムの利点) 駒ヶ岳地域全体の広域情報の把握が容易に可能、情報を共有することによる安心感。

(今後の提案) 連絡体制と情報伝達手段の整備、電力などライフライン切断時のバックアップ体制、カメラ訓練の実施。

- ・ 今後の検討方針としては、今年度は国道の道路情報板や規制情報を追加する予定で、来年度以降として WAN への接続機関の拡大(追加)、各機関が持つシステムとの連携を考えている。

- ・ 「渡島・檜山地方防 WAN」の情報共有画面イメージを実際にスクリーンに投影し、説明した。
- ・ 出席機関からは次のような補足があった。

(森町) 台風情報など普段は气象台しか提供していないような情報や、他の地方からみた映像などが利用でき、非常に役立っている。他の市町村にも是非導入してもらいたいが費用面が課題だと思う。

(砂原町) 一番の利点は風の方向、強さ、雨量、道路情報など全てがリアルタイムでみれることであり、非常に重宝している。

(鹿部町) 毎日 24 時間テレビをつけっ放しにしているのでいつでも見れる状態である。非常時の電源対策について検討願えないか。

(南茅部町) 当町は NTT 回線で接続しており、現状的にはあまり利用していない。12 月 1 日に函館市と合併するので、函館市に早めに設置してもらえないか、我々のシステムも光にしてくれるのか、電源対策等について検討願えないか。

(七飯町) 情報が見れることは概ね全てプラスになっている。他の市町村にも配置されることを希望する。長期の停電時の対応が必要だと痛感している。

(函館土木現業所) 日常的な活用はあまりない。台風 18 号では電源設備の重要さを痛感した。また、全道展開であれば道路管理者という観点からだけでなく、より大きな観点で利用していかないと費用的にも難しいという印象である。

(座長) この事例を参考に全道に広がり、他の部門にも広がっていくという感じはしている。

(函館土木現業所) 住民に対する情報提供も行うべきではないか。道路に関してはよいと思うが、土石流・火砕流の場合は行政に連絡し、それを確認してからでは遅いのではないか。旭川(十勝岳)の方では火山砂防の関係で、住民から情報提供を受けるところまでやっていると聞いている。また、函館方面(南茅部町)でも土砂災害相互通報を北海道主体でやっている。

(座長) 住民に提供する前に管理者同士での連携が必要であると考えている。将来的には住民に対する情報提供も行っていく必要があると思うが、最初の段階として管理者に情報提供することとした。また、このシステムは積丹半島の 3 町でも試行的に運用しており、将来的には全道が同様の仕組みで取り組んでいくことになる。一番大変なのがハードの整備であるため、各機関におかれてはこの件について持ち帰って検討して頂きたい。

3 - 4 . 議事 4 函館開発建設部が提供している情報(資料 - 4)

- ・ 函館開発建設部(北海道開発局)が提供している情報として、「道路情報提供システム」「道の駅情報提供端末」「北の道ナビ」「i-FAX」の 4 点について、事務局が説明した。

(函館土木現業所) 今後は道道や市町村道も含めて、地域の道路情報として組み込んでほしい。また、現在は携帯電話がかなり普及しているので「北の道ナビ」などに道道なども取り込んでほしい。

(森町) 役場のインターネット端末や FAX には UPS (無停電電源装置) が付いていないので、停電時などでこれらが使えないときは、UPS が付いている北海道総合防災ネットワークの FAX に送信してもらえないものか。

(座長) 今回の台風では開建でもその重要性を再認識したので、今後はその対応を充実させたい。

(函館土木現業所) 土木現業所では、全道の組織の連絡体制として、色々な面での連絡体制をポケットブックとして作成しており、停電時でも何らかの連絡が速やかにとれるようにしている。(土木現業所)

(座長) 各機関においては「災害時等緊急時の電源対策」について検証・検討されたい。

3 - 5 . 議事 5 気象台の参画について (資料 - 5)

- ・ 昨年の台風 10 号以来、気象台との情報面や体制面での連携がこれまで以上に必要とされ、特に今後の情報伝達体制等の確立においては気象関係機関との連携が不可欠である。よって、当協議会に函館海洋気象台を構成機関として追加することについて、事務局が説明した。
- ・ 協議会総会時に改めて提案し、承認を得たいと考えている。

(江差道路) 海洋気象台には事前に話しをしているのか。

(座長) 海洋気象台には話をしており、了承をもらっている。今後は、今回の気象台のように新たな機関が参画することも考えられ、より充実していくものと考えている。

3 - 6 . その他 協議会ホームページ及び協議会パンフレットの作成 (参考資料 - 1 , 2)

- ・ 協議会ホームページの正式運用、及び協議会パンフレット(案)について、事務局が説明した。
- ・ 協議会ホームページはこれまで暫定運用を行っていたが、今年度より正式運用を行ったこと、ならびにそのコンテンツについて説明を行った。
- ・ 協議会パンフレットについては、事前に行ったアンケート結果を紹介するとともに、これらの意見を反映することを説明した。

出席者からの質問・意見は挙がらなかった。

3 - 7 . その他 情報連絡マニュアルの作成 (参考資料 - 3)

- ・ 情報連絡マニュアルは、道路情報の流れを明確にすること、道路管理者への連絡先を明記すること、各機関の防災担当部署に確実に連絡されていることを確認するために作成したものである。これには連絡網や各機関の担当窓口の部署や電話番号が記載されており、これを協議会構成機関のなかで共有したいと考えている。

出席者からの質問・意見は挙がらなかった。

3 - 8 . その他 今年度のスケジュール

- ・ 11月中旬に協議会総会の開催を予定している。
 - ・ 11月25日に鹿部町公民館にて、「駒ヶ岳防災シンポジウム」を開催する。主催は、駒ヶ岳火山防災会議協議会、北海道開発局、札幌管区气象台、北海道を予定している。
- 出席者からの質問・意見は挙がらなかった。

以上

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会 第2回ワーキンググループ出席者
(東部ブロック)

No.	機 関 名	部 署 ・ 役 職		氏 名	備 考
1	渡島支庁	地域政策部地域政策課	主査	大石 隆蔵	
2	函館土木現業所	企画調整室	企画調整係長	飛内 健雄	
		管理課	管理第二係長	齋藤 英之	
		事業第一課	管理係長	木村 俊勝	
維持第一係長	工藤 健一				
3	北海道警察函館方面本部	交通課	規制係長	伊藤 政美	
		警備課	災害係長	長内 健一	
			災害係主任	畑端 俊範	
4	函館中央警察署	警備課	警備係長	鹿原 昌吉	
5	函館西警察署		警備係長	加藤 和明	
			交通規制担当	押田	
6	森警察署		警備係長	佐々木 博之	
7	函館市	総務部総務課	主事	河瀬 宏之	
8	上磯町				欠席
9	大野町	総務課政策グループ	参事	渡辺 武美	
10	七飯町	総務課	主事	福川 晃也	
11	戸井町	総務課	交通防災係長	谷藤 日出也	
12	恵山町				欠席
13	楳法華村	企画課	課長	加藤 忠文	
14	南茅部町	総務企画課	主査	斉藤 政次	
15	鹿部町	防災対策室	室長	長根山 信昭	
16	砂原町	総務企画課	防災係長	中島 将尊	
				谷口 正美	
17	森町	防災消防対策室	防災係長	澁谷 成輝	
				谷口 正美	
18	松前町	総務企画課	管理防災係長	小川 佳紀	
19	函館市消防本部	警防課	警防係長	前田 邦宏	
20	森町消防本部	警防課	消防係長	平山	代理
21	南渡島消防事務組合消防本部	総務課	消防係長	土田 敏之	
22	渡島東部消防事務組合消防本部	管理課消防係	消防係長	小野寺 泰和	
23	函館地区バス協会				欠席
24	函館地区トラック協会				欠席
25	函館開発建設部	工務課	課長	佐藤 薫	座長
		防災対策官	防災対策官	遠藤 謙二	事務局
			防災対策専門官	藤澤 孝安	事務局
		工務課	道路維持専門官	安藤 均	事務局
			交通対策専門官	菊地 憲一	事務局
		函館道路事務所	維持課長	深坂 敏則	
森道路維持事業所	副長(技術)	杣畑 正義			

出席者数 21 機関 34 名

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会 第2回ワーキンググループ出席者
(北部ブロック)

No.	機 関 名	部署・役職		氏 名	備 考
1	函館土木現業所	八雲出張所	維持係長	川上 勝寛	代理
		今金出張所	管理係長	篠原 宗秋	
2	八雲警察署	交通課	課長	二階堂 義明	
			警備係長	瀧 俊則	
3	北檜山警察署		警備係主任	佐藤 忠雄	
4	八雲町	総務課	課長	菊池 孝之	代理
5	長万部町				欠席
6	大成町				欠席
7	瀬棚町	総務町民課	総務係長	池田 裕之	
8	北檜山町	総務課	課長	高野 利廣	
9	今金町	企画振興課	主事補	棚橋 大記	
10	長万部町消防本部		警防第2係長	高橋 博	
11	八雲町消防本部	消防課	課長	平岩 喜一郎	
12	函館開発建設部	工務課	課長	佐藤 薫	座長
		防災対策官	防災対策官	遠藤 謙二	事務局
		工務課	道路維持専門官	安藤 均	事務局
			交通対策専門官	菊地 憲一	事務局
		八雲道路総合事業所	所長	村上 勉	
			副長(維持)	花谷 稔美	
瀬棚道路総合事業所	副長(維持)	田中 悦郎			

出席者数 10 機関 18 名

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会 第2回ワーキンググループ出席者
(西部ブロック)

No.	機 関 名	部署・役職		氏 名	備 考
1	檜山支庁	地域政策課	主査(防災)	中出 裕幸	
2	函館土木現業所	松前出張所	次長	安斉 雄二	
			維持管理係長	紺屋 昌義	
		江差出張所	次長	小野 譲	
			管理係長	大杉 真	
3	木古内警察署				欠席
4	松前警察署				欠席
5	江差警察署	交通課	主任	吉田	代理
6	福島町				欠席
7	知内町	総務課	総務係主事	長谷川 将之	
8	木古内町	総務課	課長	小林 敏明	
9	江差町	建設課	課長	森 昌廣	
			管理係主査	長尾 恵一	
10	上ノ国町				欠席
11	厚沢部町	総務課	課長	尾山 智洋	
12	乙部町	総務課	主査	宮本 政則	
13	熊石町	総務課	課長	佐藤 雅幸	
14	檜山広域行政組合消防本部				欠席
15	渡島西部広域事務組合消防本部		管理係長	奥山 正紀	
16	函館開発建設部	工務課	課長	佐藤 薫	座長
		防災対策官	防災対策官	遠藤 謙二	事務局
		工務課	道路維持専門官	安藤 均	事務局
			交通対策専門官	菊地 憲一	事務局
		江差道路事務所	所長	徳山 利信	
			維持課長	佐藤 睦治	
		松前道路維持事業所	所長	工藤 鉄男	
副長(技術)	渡辺 昭夫				

出席者数 11 機関 22 名